

下村千秋 シゲヒコ 小説家。明治二十六年九月四日茨城縣生れ、昭和三十年一月二十一日没（六九三一九五）。筆名南川潤、木川順。大正八年早稲田大學文學院英文科卒。牧野信一、淺原六朗等と同人誌「二人」創刊。

譯著書、『バートランド・ラッセル著『新哲學綱領』（稻毛詔風名義、

譯、大正十年一月十九日大信社）、『ゴオルキイ全集・第五卷―浮浪

人』（菊池仁康 武藤直治共譯、大正十一年一月二十五日日本評論社出版部）、

『批判詩』（大正十二年九月十八日聚芳閣）、『ゴオルキイ作ワヤレン

カ・オレソウウ』（譯、大正十二年十一月十七日聚芳閣）、『月寒の

女』（昭和四年十一月十二日中央公論社『中間物選集』）、『ある私

娼との経験』（昭和五年二月二十八日大人社『現代暴露文學選集』）、

『こゝろと夜等は行く』（昭和五年十月二十日新潮社『長篇文庫』）、『大

國の記録』（昭和六年一月五日中央公論社）、『海路行』（昭和六年

八月二十一日中央公論社）、『大國の記録・街のムンペン』（昭和八

年四月十日新潮社『新潮文庫』）、『死なうと強し』（昭和十年二月

二日中央公論社）、『彷徨』（昭和十五年四月二十日牧野書店）、『上

杉鷹山』（昭和十七年一月十五日新潮社『上の偉人叢書』）、『梅澤

村と沖部落の歴史記―青森縣北津輕郡』（大政翼賛會文化部編、昭和

十七年三月二十日翼賛圖書刊行會『村の調査報告』）、職場『生

産のうた』（神崎 武雄 大田里翁共作・岡崎俊一郎脚色、昭和十八年七月二十

日新興出版社）、『故郷のそよぐ』（昭和十八年八月

十日錦城出版社）、『無醫村と救ひ人々』（昭和十

九年八月二十五日翼賛出版協會『農村建設文學叢



神崎 武雄
大田里翁共作
下村千秋

書一）、『夜の街物語』(昭和二十一年二月、千五百書路社)、
 『かゝ彼等は行く』(昭和二十一年五月、百濟書房)、
 『現代小説・第一輯』(合著・日本文藝家協會編、昭和二十一年十一月、千白大元社)、
 『中学生』(昭和二十八年一月、五百乾元社)等。
 文獻、平翰光二著『下村千秋―生涯と作品』(昭和五十年九月、千
 葉・岩崎書房)等。

